

「逗子市立図書館の開館日と開館時間の短縮」方針の見直しを求める陳情

逗子市議会議長

菊池俊一殿

かつて、逗子市立図書館が新設された2005年、今までとは全く違った斬新な発想で「蔵書が背後にある形の閲覧机が増設され、開館日と開館時間の大幅拡充」が図られました。以来12年が経過した2017年8月16日には、「入館者数700万人」を達成するほどの使い勝手の良い施設となりました。市民は、その利用者目線に立った運営に深く感謝し、「人生をより深く豊かなものにするために」日々喜びをもって逗子市立図書館を利用しています。従って開館日を削減しないで従来通りとして下さい。

又、幼児から老人まで、老若男女、自由業、会社員等々、今の平日（9時～20時）の開館時間帯なら全ての市民が利用できます。しかし18時以降閉館になると遠距離通勤の会社員や学校帰りの高校生・大学生は利用者枠から排除されてしまいます。

18時以降の利用率が昼間と比べて低くても、これらの人たちへの配慮が必要です。（例えば週の半分（月・水・金）は、従来通りとする。夏期は閉館時刻を遅らせるなど）きめ細かい対応を考えてください。

2018（平成30）年 1月12日

逗子市沼間1-136-40

逗子図書館問題研究会

代表 小保方 美江子

他署名 345名

